

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2003.10.1 ~ 10.31)

人事(10月1日付)

兼任研究員 中村 広伸 平澤 純子
 客員研究員 大串 隆吉(東京都立大学教授,
 2004年1月31日まで)

刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』540号(2003年11月)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	62	19	81
受 贈	52	4	56
合 計	114	23	137

閲覧サービス

閲覧

開館日数 26日
 閲覧人員 58名
 貸出図書 73冊

コピーサービス

学外 38件 3006枚
 学内 11件 786枚

日 誌

- 1日 研究会議
 月例研究会
 テーマ:「『田沼裁判』資料の全体像 資料整理と目録作成の見地から」
 報告者:松尾純子
 橋口毅氏(元時事通信記者)より「時事通信労働運動・争議(主に田島昌夫氏関連資料)」化粧箱7箱を受贈(16日 同4箱受贈)
 国立国会図書館「資料保存研修会」(高橋芳枝参加)
- 2日 連合第8回定期大会(於:厚生年金会館,五

十嵐仁傍聴)

- 3日 社会政策学会幹事会・研究大会(於:下関市立大学,五十嵐仁,鈴木玲出席)(~6日)
- 8日 『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会
 『日本労働年鑑』編集会議
 訪問:前原直樹氏(労働科学研究所所長)
- 9日 第16回国際労働問題シンポジウム(於:ポアソナード・タワー26階スカイホール,約120名)「雇用関係の範囲(労働者性)働く人の保護はどこまで及ぶか?」
- 10日 協調会研究会
 地域研究センター開所式(五十嵐仁出席)
- 15日 運営委員会
 議題 来年度予算申請について ILOシンポの開催について Webサイトの更新について 国際交流講演会について 所長の労働科学研究所の評議員への就任について 専任研究員の定年延長について その他
 『日本労働年鑑』検討小委員会
 レッドページ等関係資料リストをOISR.ORGアーカイブに公開
- 21日 訪問:尹辰浩氏(仁荷大学校経済学部教授),金元重氏(千葉商科大学教授)
- 22日 研究会議
 月例研究会
 テーマ:「五十嵐仁著『戦後政治の実像』について-序章を中心に-」
 報告者:五十嵐仁
- 25日 加齢課程における福祉研究会
 テーマ:自宅でない在宅 要介護者向けの新しい住まい方
 報告者:前川佳史氏(東京都老人総合研究所介護・生活基盤グループ研究員)
- 27日 協調会研究会
- 28日 事務会議
- 31日 見学来所:東京都中央労政事務所より長谷川真司氏(課長補佐),菅野満雄氏(主任)

大原社会問題研究所雑誌 No.543(2004年2月号)

2004年2月25日発行

定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042(783)2307

投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文，調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投稿規定

- 1．投稿原稿は2部とし，ワープロ作成による未発表のものに限ります。
- 2．原稿の分量は，原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
- 3．原稿には，審査に資するため，600字以内の要約を添付してください。
- 4．原稿の採否は，本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て，本誌編集委員会が決定します。
- 5．初めて投稿される方は，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
- 6．掲載原稿には，所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324
法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論文執筆要領

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
 - 横書きとする。
 - タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。
 - 原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。
 - 注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。
 - 図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
 - 日本語の図書・論文の場合
 - A．日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『 』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。
 - B．著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「 他」の方式も可とする。
 - C．論文については，執筆者名，論文名（「 」で囲む），掲載雑誌名（『 』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。
 - D．注の最後は，かならず「。」で止める。
 - 欧文の図書・論文の場合
 - A．欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
 - B．論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。
 - C．再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
 - D．注の最後は，かならず「。」で止める。

以上